

# ウェブサイトとオンライン授業で学ぶSDGs 積水化学工業が行う 次世代を対象としたSDGs教育の 取組と活用事例について



積水化学工業株式会社

ESG経営推進部

環境経営グループ

野澤育子

# ウェブサイトとオンライン授業で学ぶSDGs 積水化学工業が行う 次世代を対象としたSDGs教育の 取組と活用事例について

積水化学工業株式会社 ESG経営推進部  
環境経営グループ 野澤育子

キャリア協育アクション推進コンソーシアム

積水化学工業株式会社

SEKISUI SDGs Academy 未来Challenge-自分の挑戦のとびら-

URL:<https://www.career-program.ne.jp/action3/program/044.html>

EduTown SDGs わたしたちがつくる未来

URL:<https://sdgs.edutown.jp/>

積水化学グループは、持続可能な社会づくりに貢献できる次世代の育成を支援するため、東京書籍株式会社と連携し、誰でもSDGsを学べる教育サイト「EduTown SDGs」を開設し、そのコンテンツを活用したSDGsを学ぶオンライン授業「SEKISUI SDGs Academy 未来Challenge-自分の挑戦のとびら-」を、中学生を対象に実施しています。

この取組は、積水化学グループが開催した次世代向けの環境イベント「世界子どもエコサミット」での子どもたちの提言と、社会的なSDGs達成への関心の高まりを受けて開始されました。教材の内容から授業の特徴、実際の活用事例まで、積水化学工業株式会社 ESG経営推進部 環境経営グループの野澤育子さんにお話を伺いました。

## 「世界こどもエコサミット」の提言を受け、次世代向けSDGs教材の作成・提供を開始

### ——積水化学グループが次世代を対象にしたSDGs教育を行う背景を教えてください。

積水化学グループがSDGs教育を行う背景には、次世代への環境教育の推進という強い思いがあります。きっかけは、2007年から開催している「世界こどもエコサミット(\*1)」での子どもたちからの提言でした。2017年のサミットで、「自分たちの世代が環境について学べる教材を提供してほしい」という要望を受け、教材提供を約束しました。

また当時は社会全体でSDGs達成への関心が高まり始めた時期でもあり、小中学校などの教育現場でもSDGs学習の必要性が増していました。そこで、積水化学グループは、次世代を担う人材がSDGsを学べる教材、「EduTown SDGs」を東京書籍株式会社様と連携して開設しました。さらに積水化学グループでは、「EduTown SDGs」を活用した「SDGsを学ぶオンライン授業」の取組も開始しました。

### ——「EduTown SDGs」の紹介をお願いします。

「EduTown SDGs」では、SDGsの基礎知識から、当社を含む様々な企業の社会課題を解決するための取組まで幅広く紹介しています。また、自分たちがSDGsの達成のためにどんなアクションを起こせるかを学ぶことができます。

ウェブサイト内には当社独自のコンテンツであるSDGsカードやセキスイカルタ、バーチャル工場見学、まちづくりバーチャル見学を用意しており、次世代の子どもたちが、ものづくりを通じてSDGsを学べる教材となっています。

具体例を挙げると、

- SDGsカードやセキスイカルタでは、積水化学グループの様々な製品情報からSDGsで掲げられた課題とその解決方法について学ぶことができます。
- バーチャル工場見学、まちづくりバーチャル見学では、積水化学グループが生産・建築・販売する住宅(セキスイハイム)の家づくりやまちづくりの様子をサイト上で見学でき、持続可能な住まいやまちの特徴・工夫点を動画や360度カメラの画像を通じて学ぶことができます。



360度カメラは、指定の場所をクリックすることで、解説付きの映像も視聴できる。

(\*1)世界こどもエコサミット:積水化学グループが2007年、2012年、2017年に開催した次世代向けの環境イベント。世界各地の当社グループ会社の従業員の子どもたちが日本を1週間訪れ、環境について学び、最終日には自分たちの行動宣言と当社経営層への提言を行いました。

## —SDGsを学ぶオンライン授業「SEKISUI SDGs Academy 未来Challenge -自分の挑戦のとびら-」の紹介をお願いします。

本プログラムは、中学生を対象にしています。持続可能な社会を実現するために、生徒たちが自ら考え、行動できる力を伸ばすことを目的として2021年にスタートしました。授業は、事前授業・オンライン授業・事後授業の3部構成(各2コマ、計6コマ)を基本プログラムにしていますが、時間制約のある学校向けに各授業を1コマずつ短縮した3コマ版も用意しています。講師は社内レクチャーを受けた社員が務め、ワークシートとチャレンジシートを紙またはPDFにて提供しています。オンライン形式のため、講師が学校を訪問することはありませんが、生徒が考えた社会課題を解決する製品の発表に対して、講師がフィードバックを行う、クイズ形式で当社製品の長を学んでもらうなど、双方向の交流を重視しています。

授業用スライドにはクイズも盛り込まれており、生徒が積極的に学べるよう工夫されている。

## —SDGsを学ぶオンライン授業への申込方法、申込後の流れを教えてください。

以下のサイトより申込やご相談を受け付けています。

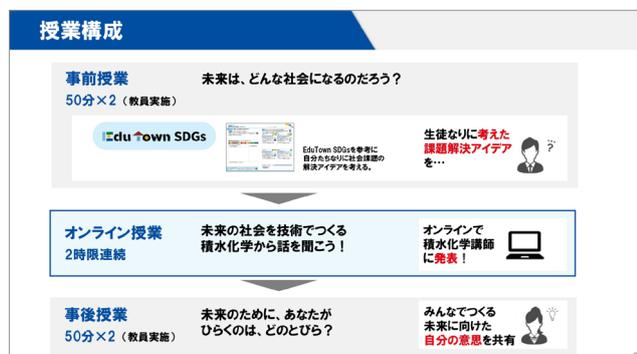
<https://www.career-program.ne.jp/action3/program/044.html>

(※2025年度中には、積水化学のホームページからもオンライン授業の申込ページを構築予定)

SDGsを学ぶオンライン授業を行うことが決まると、まず学校と当社でオンラインでの事前打合せを行い、全体概要やプログラムのねらいを説明します。その時にオンライン環境のチェック(カメラやスピーカーのテストなど)も行います。

続いて、先生方に本プログラムへの理解を深めていただくため、先生向けの授業実施資料も準備し、事前授業、オンライン授業当日、事後授業の導入や展開について説明します。

そして、生徒の学びを深めるため、「EduTown SDGs」や内閣府の「Society 5.0 - 未来社会 -」の動画(\*2)などを案内し、他社の取組や未来の社会についても学べるワークシートを提供します。



授業構成のイメージ図。

ワークシートは、自分の考えだけでなく、他の人の意見を聞いて感じたことや心に残ったことも書き出す形式になっている。

(\*2) 内閣府の「Society 5.0 - 未来社会 -」の動画: URL:[https://wwwc.cao.go.jp/lib\\_006/society5\\_0/society5\\_0\\_mirai1.html](https://wwwc.cao.go.jp/lib_006/society5_0/society5_0_mirai1.html)

# SDGsを学ぶオンライン授業 「SEKISUI SDGs Academy 未来Challenge-自分の挑戦のとびら-」の 特徴と工夫ポイント

## POINT1 SDGs教育サイト「EduTown SDGs」を活用した内容



様々な企業・団体のSDGsへの取組を紹介する他、「EduTown SDGs」内にある当社独自のコンテンツ（SDGsカード、セキスイカルタ、バーチャル工場見学、まちづくりバーチャル見学）を使用し、積水化学グループの製品・技術が、どのように持続可能な社会の実現に貢献しているかを紹介しています。

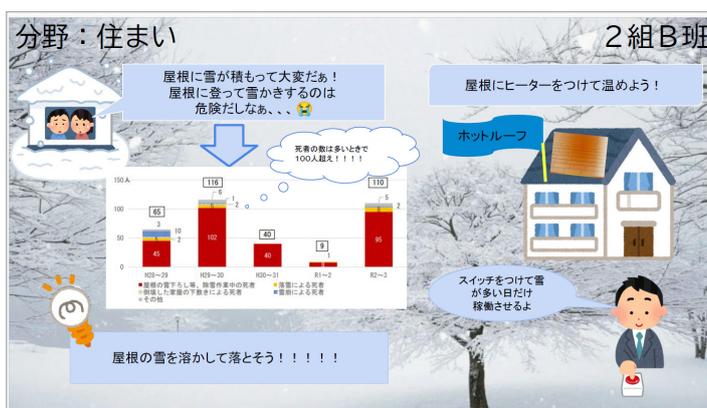
## POINT2 一方通行にならない双方向型のオンライン授業

事前授業で生徒が調べ、考えたこと、そして生徒が考案した社会課題解決のアイデアを、オンライン授業当日、講師に向けて発表します。その発表内容に対して講師がフィードバックを行います。事後授業は、生徒それぞれが「誰一人取り残さない未来」に向けて、自分が関心のある分野でどのようなことを考えていきたいかを意思表示シートにまとめます。

用意しているワークシートとチャレンジシートは、文字を詰め込みすぎない、やることを明確に記載する等、社内で行っている従業員教育（新入社員研修など）の経験も参考にして、生徒が主体的に取り組めるように工夫をしています。



タブレット端末を用いて発表する生徒たち。



生徒が考案した社会課題解決のアイデアの一例。

## SDGsを学ぶオンライン授業 取組事例紹介

### ——2024年度の授業実績(授業回数等)と、これまでオンライン授業に参加した 学校からの感想や反響を教えてください。

2024年度は2校で実施しました。

また、過去にオンライン授業に参加した学校からは以下のような感想をいただいています。

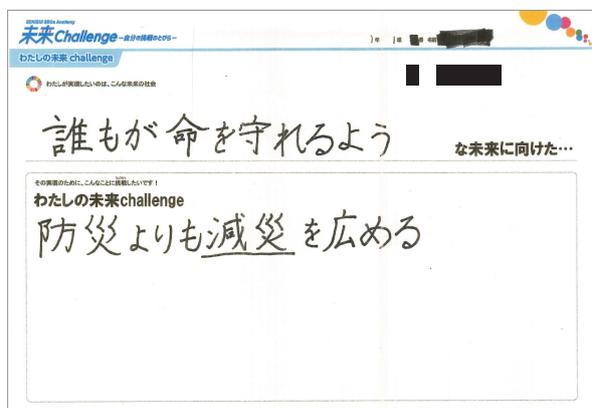
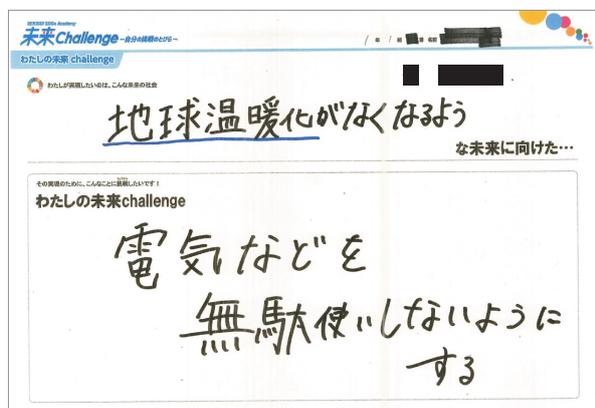
#### 【SDGsを学ぶオンライン授業に申し込んだ動機】

- ・SDGs教育を進めていく上での導入的な活動として、企業の取組を知るとともに自分たちも提案できる良い授業だと感じたからです。
- ・今まで2回授業をしていただいています。SDGsを身近に感じられる素晴らしい授業です。生徒たちは、自分の発想に対してコメントをもらったことを大変喜んでおり、チャレンジシートを通してSDGsを自分事として考えられるのも良い方法と考えています。

#### 【先生からの授業後の感想】

- ・総合学習の時間を活用して実施しました。積水化学工業の社員の方のお話を伺えたことは、生徒にとって大変有益でした。SDGsや未来について深く考える機会となり、生徒たちは「今はできなくても、将来はできる可能性がある。チャレンジすることが大切だ」という前向きな感想も言っていました。
- ・オンライン授業で積水化学工業の取組や商品について直接聞いたことが、非常に良かったです。仕事をする上での創意工夫や社会課題解決に向けて考えなければならないことが生徒に深く伝わったと感じています。
- ・生徒全員が発表する時間がないため、事前にクラスで発表者(発表グループ)を投票で決めました。良いアイデアだと思ったことも、自身の生活にマイナスの影響が出る考えは、意外と票数を得られず、悔しい思いをした生徒もいて、まさしく社会に出たときにどのような策が世の中の人に受け入れられるのかということを学ぶきっかけになったと思います。
- ・ワークシートの中にある「あなたが考える、社会課題を解決した未来の〇〇(〇には家、車、インフラ、医療が入ります)は？」という議題について考えるのが面白かったようです。
- ・ワークシートが分かりやすく、オンラインでの発表機会は、普段発表機会の少ない生徒にとって貴重な経験となりました。

また、講師を行った当社社員も「生徒の皆さんの発表や質問から、日頃から社会課題を身近に捉えていることが感じられました。先生方の熱心な授業の成果であると同時に、SDGsの社会的重要性和、当社グループの取組意義を改めて実感できました」と述べており、当社社員にとっても良い機会になったと感じています。



生徒たちが提出したワークシート。オンライン授業を通して学んだことをクラスメイトと共有し、持続可能な社会の実現に向けて考えを深めることができた。

## 持続可能な社会の実現をサポートする 次世代教育の取組

### ——今後の活動展望を教えてください。

今後も次世代の子どもたちが持続可能な社会を実現するため、自ら考え、行動できる力を伸ばす支援をしていきたいと考えています。当社グループは2021年度よりSDGsを学ぶオンライン授業を実施していますが、この他にも化学への関心・探求心を持ってもらうことを目的とした「子ども化学教室」の開催や、大学生と一緒にサステナブルな事業経営を考えるプログラムを実施しており、こうした次世代教育を支援する活動を引き続き行っていきたいと思っています。

### ——消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

SDGsを学ぶオンライン授業は、積水化学グループのものづくりを通じた社会課題解決への取組を参考に、中学生が「誰一人取り残さない未来」に向けて、自分の挑戦のとびらを開くプログラムです。

事後授業では、生徒一人ひとりが、自分が目指したい「誰一人取り残さない未来」の実現に向けた自身の行動を意思表示シートに書いてもらいますが、これまで「平等・公正な未来に向けて、多様な文化や人々に興味を持って、調べる」や「今よりも移動がもっと楽になる未来に向けて、道路の整備と燃費の良い車をつくりたい」など、生徒が社会課題を自分事として捉え、それぞれの目線でできること、やってみたいことを一生懸命考えていることがよく分かります。

持続可能な社会の構築には、このような次世代の子どもたちの考え方や行動が不可欠だと考えています。先生方には、持続可能な社会の構築に向けた、子どもたちの学びをサポートする一つのプログラムとして、本プログラムへの参加をご検討いただければ幸いです。

これからも積水化学グループは、次世代教育を支援する取組を継続して進めていきたいと思えます。

### ——ありがとうございました。

**もっと知りたい方はこちら!**

積水化学グループのサステナビリティ:

<https://www.sekisui.co.jp/sustainability/sekisui/society/>